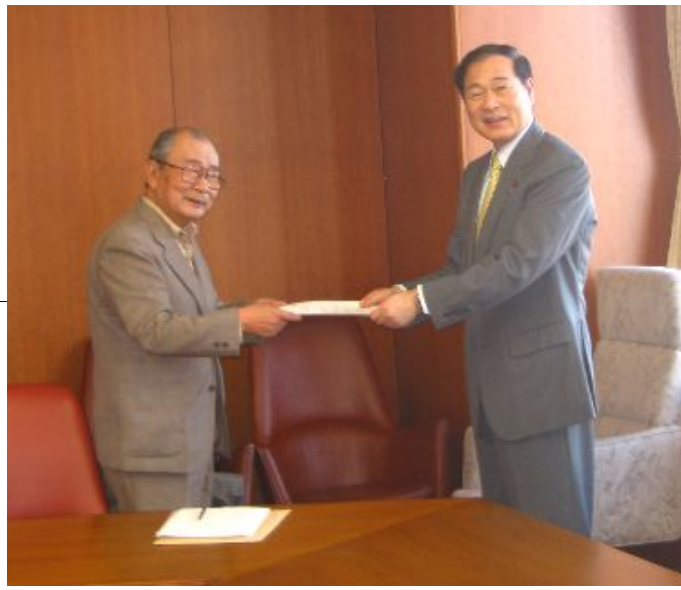


サラリーマン川柳(脳トレで 頭鍛えて 足弱る) (会議後の 打ち上げこそが 本会議) (相撲取り 土俵の外で 土がつき) (なぜ怒る 早く帰って 来ただけで)



中越高齢協・連合中越 森長岡市長に要望書提出

介護従事者対策や施設不足などを中心に要望 森市長から具体的な考え方が示される

中越高齢協と連合中越は、介護従事者対策や介護施設不足、空家対策などを中心にした市政要望書を2月4日(木)に森民夫長岡市長に提出した。

中越高齢協は下田会長ら役員10名と連合中越横澤副議長が午後1時15分から市長を訪ね、両代表が挨拶。早速、森市長から「日頃から市政に関心をもち、毎年要望や意見を聴かせていただき誠に感謝しております」と挨拶が述べられた。

要望内容は、事前に事務当局に提出しており、森市長から具体的な考え方が示された。特に介護施設の不足に



第668号 2010. 2. 11
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人 矢島 良彦
定 価 1部10円



2010年環境保全団体交流会が、1月29日(金)18時30分から長岡グランドホテルにおいて開催された。参加した団体は、環境保全に関する活動団体で、サークルみずばし、地域循環ネットワーク、エコファーム新潟、岩村農機、関原婦人会、みつけ元気助け合いの会、柿川に親しむ会実行委員会と連合中越の国民市民担当・SJネットの9団体総勢39名が参加して実施された。

2010年環境保全団体交流会



10 春季街宣キャラバン実施

連合中越・各支部の連携
連合新潟春季生活闘争街宣キャラバン車が2月2日柏崎地協から到着。翌日3日から行動を開始した。

これは、10春季生活闘争全国キャンペーンの一環。すべての働く者のために頑張る、これが今年の連合。春闘前段に非正規労働者の雇用政策やなんでも労働相談ダイヤル等を寒波の中訴えた。

また、関原婦人会からは、3名の女性が歳を感じさせない踊りも披露。盛り上がった。終わりは、みつけ元気助け合いの会の佐々木志津子さんの一本締め、今年の活動充実を誓い合った。

連合新潟は、第1回組織対策委員会を1月29日(金)に開催し、10・11年度組織拡大の取り組みについて意思統一をはかった。

連合新潟は、第1回組織対策委員会を1月29日(金)に開催し、10・11年度組織拡大の取り組みについて意思統一をはかった。

「安・近・短」レジャーの代表格、温泉旅行。海外から国内旅行へのシフトで、賑わっているかと思いきや、温泉地の旅館は苦戦が続いているという▼かき入れ時の年末年始も低調に終わったようだ。宿泊料金の高止まりや食事などを組み込んだ格安プランに利用者が流れていることが原因か

「安・近・短」レジャーの代表格、温泉旅行。海外から国内旅行へのシフトで、賑わっているかと思いきや、温泉地の旅館は苦戦が続いているという▼かき入れ時の年末年始も低調に終わったようだ。宿泊料金の高止まりや食事などを組み込んだ格安プランに利用者が流れていることが原因か

相談ダイヤル担当者研修開催

連合新潟は、春季「何でも労働相談ダイヤル」に向けた相談ダイヤル担当者研修会を2月6日(土)に県労協会館で開催した。



研修には、各地協担当者、LSCのコーディネータ等30名以上が参加。午前の部は、林新潟地協

事務局が労働相談Q&Aをテキストに、相談事例と労働基準法や相談の心構えについて解説。午後からは、実際に寄せられた相談事例に基づいてグループ毎に別れ、労働相談ロールプレイを実施。相談に潜む課題や相談者の気持ちを受止めての対応の仕方、問題点の引き出し方等について受講した。

初めて相談ダイヤルを受ける受講者も多く、緊張感ある真剣な研修会となった。

東蔵王2
No.2

サラリーマン川柳 (パスワード 忘れて本人入れない) (千鳥足 敷居またげば 忍び足) (まだ食べる? 賞味期限を 犬に聞き) (クラス会 病氣と孫の 話だけ)



連合新潟副事務局長2人を講師に向かえ

賃金交渉の基礎知識など学ぶ

各地協青年・女性委員が長岡で研修会

連合新潟青年委員会主催の『2010地協青年代表者研修会』が1月31日(日)午前10時30分よりアトリウム長岡で開催されました。

連合新潟青年委員長あいさつの後、来賓の連合新潟斎藤事務局長からあいさつをいただき、研修会がスタート。

研修会では、連合新潟小林副事務局長に講師になっていただき『2010春季生活闘争』について学習した。今年の春闘方針や春闘、賃金交渉の基礎知識を学び、続いて各地協・支部相互で『昨年度の活動報告・今年度の活動計画』について報告会を行い、意見交換の場となり、情報交換といった。

連合新潟青年委員会主催の『2010地協青年代表者研修会』が1月31日(日)午前10時30分よりアトリウム長岡で開催されました。

連合新潟青年委員長あいさつの後、来賓の連合新潟斎藤事務局長からあいさつをいただき、研修会がスタート。

研修会では、連合新潟小林副事務局長に講師になっていただき『2010春季生活闘争』について学習した。今年の春闘方針や春闘、賃金交渉の基礎知識を学び、続いて各地協・支部相互で『昨年度の活動報告・今年度の活動計画』について報告会を行い、意見交換の場となり、情報交換といった。

新潟 連合

青年委員会20周年イベント成功へ団結

『2010春季生活闘争』について学習した。今年の春闘方針や春闘、賃金交渉の基礎知識を学び、続いて各地協・支部相互で『昨年度の活動報告・今年度の活動計画』について報告会を行い、意見交換の場となり、情報交換といった。

研修会では、連合新潟小林副事務局長に講師になっていただき『2010春季生活闘争』について学習した。今年の春闘方針や春闘、賃金交渉の基礎知識を学び、続いて各地協・支部相互で『昨年度の活動報告・今年度の活動計画』について報告会を行い、意見交換の場となり、情報交換といった。

研修会では、連合新潟小林副事務局長に講師になっていただき『2010春季生活闘争』について学習した。今年の春闘方針や春闘、賃金交渉の基礎知識を学び、続いて各地協・支部相互で『昨年度の活動報告・今年度の活動計画』について報告会を行い、意見交換の場となり、情報交換といった。

研修会では、連合新潟小林副事務局長に講師になっていただき『2010春季生活闘争』について学習した。今年の春闘方針や春闘、賃金交渉の基礎知識を学び、続いて各地協・支部相互で『昨年度の活動報告・今年度の活動計画』について報告会を行い、意見交換の場となり、情報交換といった。



2010年度 SJネット学習会

ユニオンパワーアップセミナー

次代を担う青年・女性組合員の必須講座! 労働組合入門編

- ★日時 2月24日(水) 18:30～
- ★会場 長岡市勤労会館 大ホール
- ★内容 講演「労働組合ってなあに? 連合ってなあに?」
- ★講師 連合新潟 斎藤敏明 事務局長
- ★参加費 無料

労働組合って何? メリットは? 春闘って何? 何で春なの?! 何となく「組合員」になったけど...



「民間部門連絡会」「官公部門連絡会」開催

- ★日時 2月26日(金) 18:30～
- ★会場 会館青善 (民間・官公部それぞれ別室で)
- ★内容 春闘や様々な課題の情報交換等
- ★交流会 19:30～ (官民合同)
- ★参加費 1人3,000円 (当日徴収)

構成組織窓口責任者経由で「民間部門連絡会・官公部門」の事前調査表が送付された単組につきましては、2月17日(水)までに地協事務局へ返信ください。一覧表として会議で使用いたします。 ※当日参加されない単組からも回答願います

連合十日町支部だより

★筒井信隆農林水産常任委員長就任を祝う会に参加★

12月9日(水)18:30よりラポート十日町におきまして、筒井氏の衆院農林水産常任委員長就任祝賀会が開催されました。

主催者を代表して阿部市農業委員会会長のあいさつがあり、続いて関口十日町市長らが祝辞を述べました。

風間直樹参議院議員、尾身孝昭県議会議員らからのメッセージ披露の後、登壇した筒井氏は「マニフェストの実現に全力を挙げなければならない。方向としてはコンクリートの政策から人間重視の政策への転換であるが、コンクリートの政策の中でも重要なものがある。例えば上信越自動車道の4車線化である。今まで2車線だったため、14名の方が事故で亡くなっている。先般の事業仕分けでは頭にくるようなこともあった。中山間地直払制度維持は民主党の公約であり、仕分けの俎上に乗せること自体がおいしい。農業では食べていけないから若い人が後継者となっていない。農業が衰退すれば集落も衰退する。何とか農業で食べていけるようにするために農家の所得補償を訴えている。何とか予算を確保したい。」とあいさつしました。



出席者と談笑する筒井氏

乾杯後、約250名もの参加者は懇親を深めました。

連合南魚沼支部だより



今回は、1月28日に行いました旗開きの様子を皆さまにお伝えしたいと思います。



南魚沼市「いち藤」に於いて、第1回の幹事会と同時開催しました。幸い天候にも恵まれ、来賓の方々も含め20名を超える参加がありました。幹事会では本年の大まかな予定の確認と、メーデーに向けての打ち合わせを行い、その後、旗開きとなりました。

新年度、初めて行われる連合の活動でありますので、参加者全員から自己紹介をいただきました。和気藹々とした雰囲気の中、今後の活動に対する結束を深めた、よい旗開きになったと自負しております。